

曾祥小與九年任於參政
所安老九年任於臺 歲

王生与介良九年任於非廣

介生直安九年任於利廣

曾祥中職費年任於及教

曾祥中福省費年任於非廣

曾祥中省費年任於政 歲

曾祥中職使費年任於政 歲

曾祥中秋費年任於臺 歲

曾祥中省費年任於政 歲

曾祥中豐了自費年任於政

曾祥中清刀自費年任於政

曾祥中直礼費年任於廣

曾祥中秋費年任於廣

曾祥中安良費年任於廣

曾祥中良直費年任於廣

曾祥中四費年任於廣

丁

李

李

李

李

丁

李

李

李

李

李

李

李

李

丁

李

李

舍拾

口拾肆不誤

口拾肆

丁

李

口拾

口

李

口

丁

崔三宋史廣成子任於廣

曾祥中有房手戴於中廣

< 負名体制① >

国司に大
きな権限
と責任を
負わせる

国家(中央政府)

国司に一国内の
支配を委任する

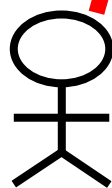
一定額の税を
納入させる

国司(役所 = 国衙)

< 国衙領(公領) >

名	名	名	名
名	名	名	名

名の耕作を
請け負わせ
面積に応じ
課税する



税として**官物**・
臨時雑役を徴収

有力農民

= **田堵**(**負名**)

< 負名体制② >

国家(中央政府)

国司に一国内の
支配を委任する

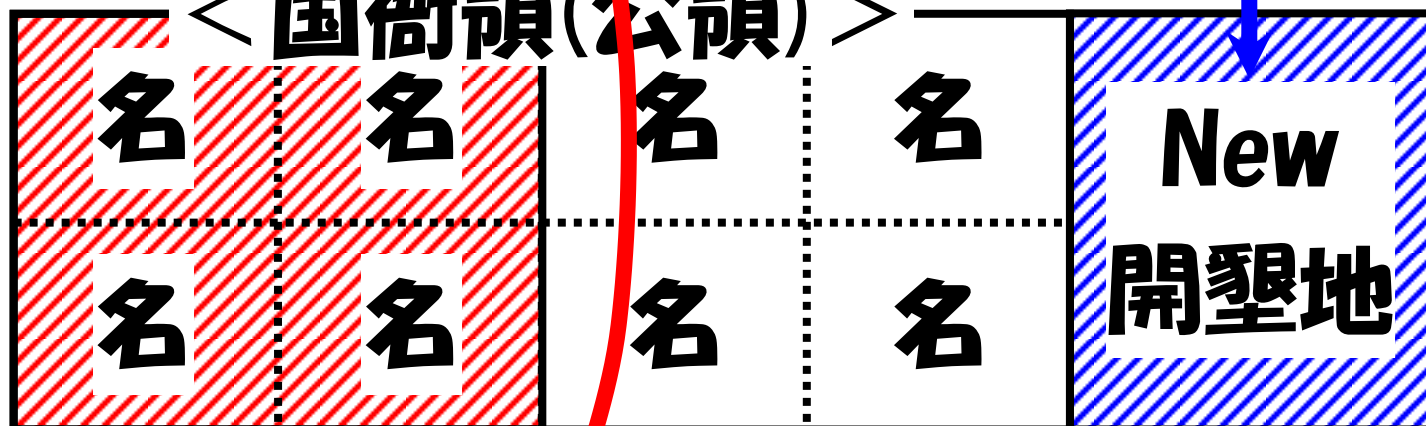
一定額の税を
納入させる

国司に大
きな権限
と責任を
負わせる

国司(役所 = 国衙)

④ 所領の没収をはかる

< 国衙領(公領) >



名の耕作を
請け負わせ
面積に応じ
課税する



税として **官物・
臨時雑役** を徴収

有力農民

① **田堵(負名)**

小名田堵 ② **大名田堵**

(小さな名を担当) (大きな名を担当)

③ **開発領主へ成長**

< 遙任 >

遙任(国司)

留守所
(国衙)

派遣

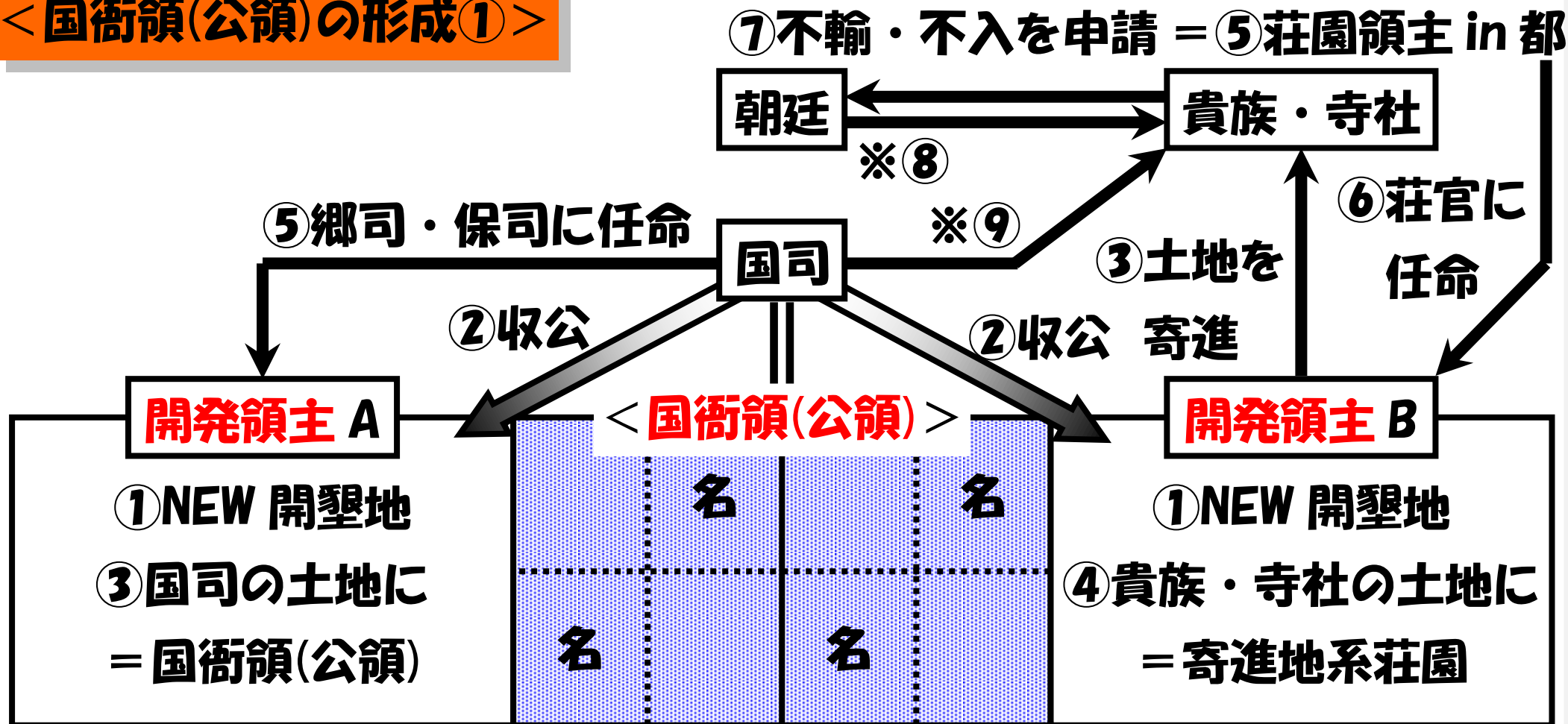
税の受け取り

目代(留守所の長)

指揮

在庁官人(国衙の役人)

< 国衙領(公領)の形成① >

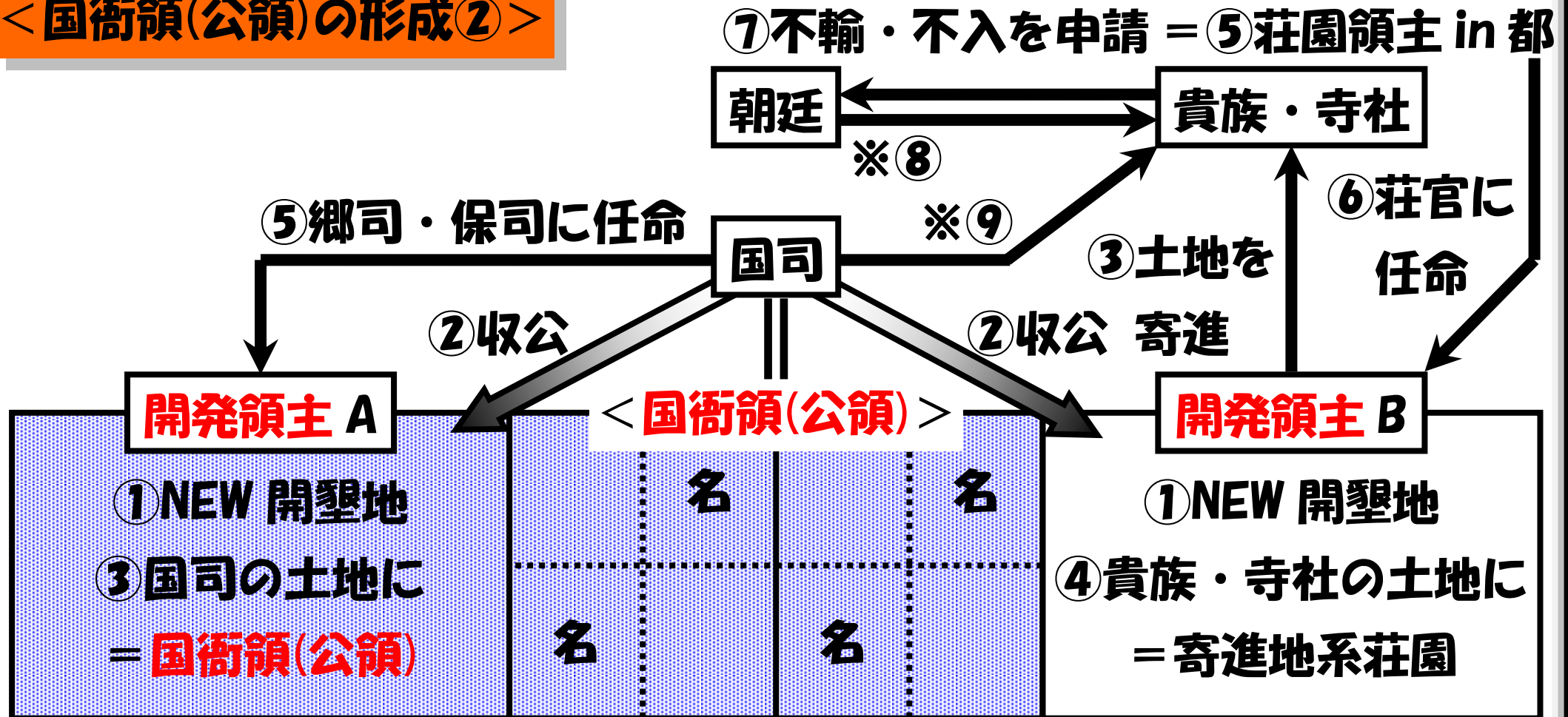


④新しい国衙領
= 郷 or 保と
呼ばれる

④もとのからの国衙領
= 郡と呼ばれる
(→郡司が管理)

※⑧朝廷から不輸を認め
られた荘園 = 官省符荘
※⑨国司から不輸を認め
られた荘園 = 国免荘

< 国衙領(公領)の形成② >

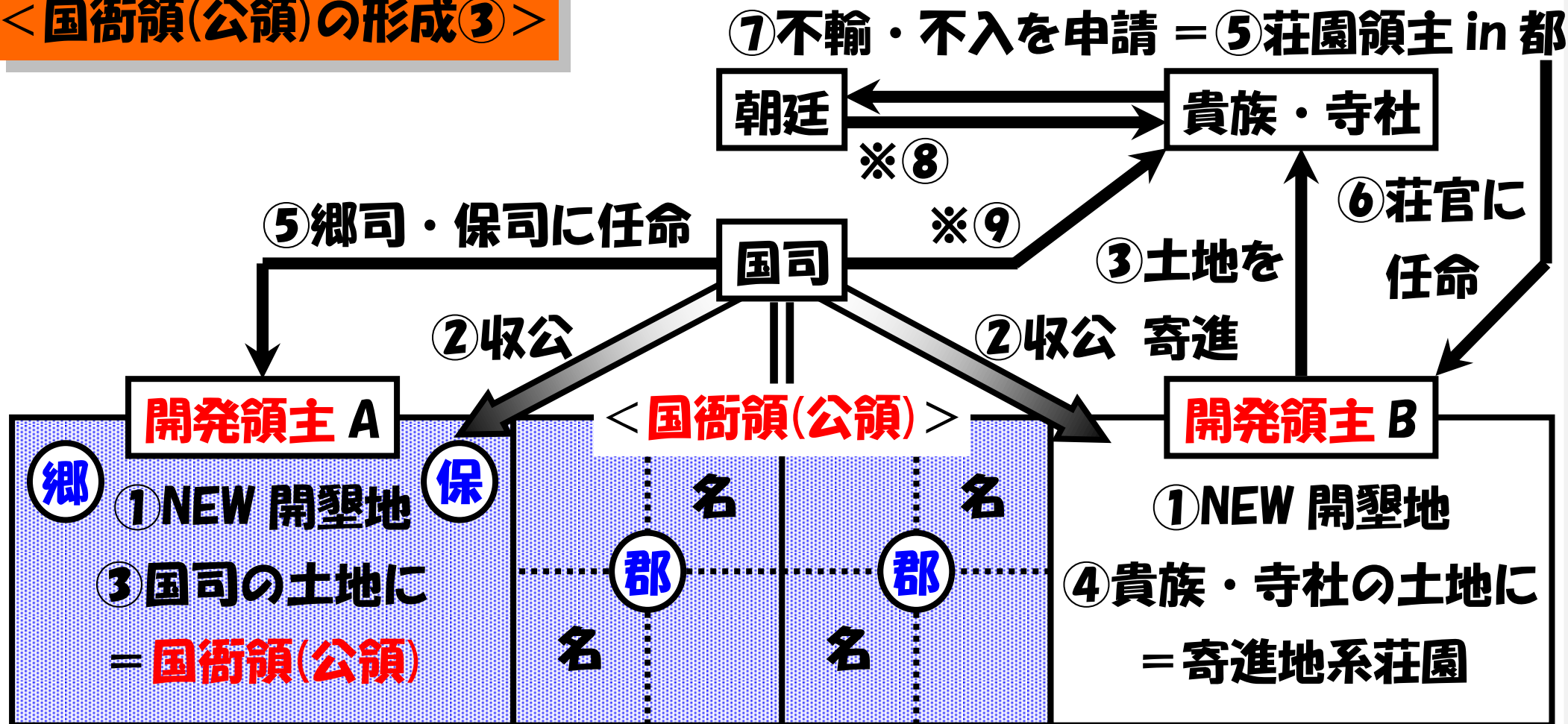


④新しい国衙領
= 郷 or 保と
呼ばれる

④もとのからの国衙領
= 郡と呼ばれる
(→郡司が管理)

※⑧朝廷から不輸を認め
られた荘園 = 官省符荘
※⑨国司から不輸を認め
られた荘園 = 国免荘

< 国衙領(公領)の形成③ >

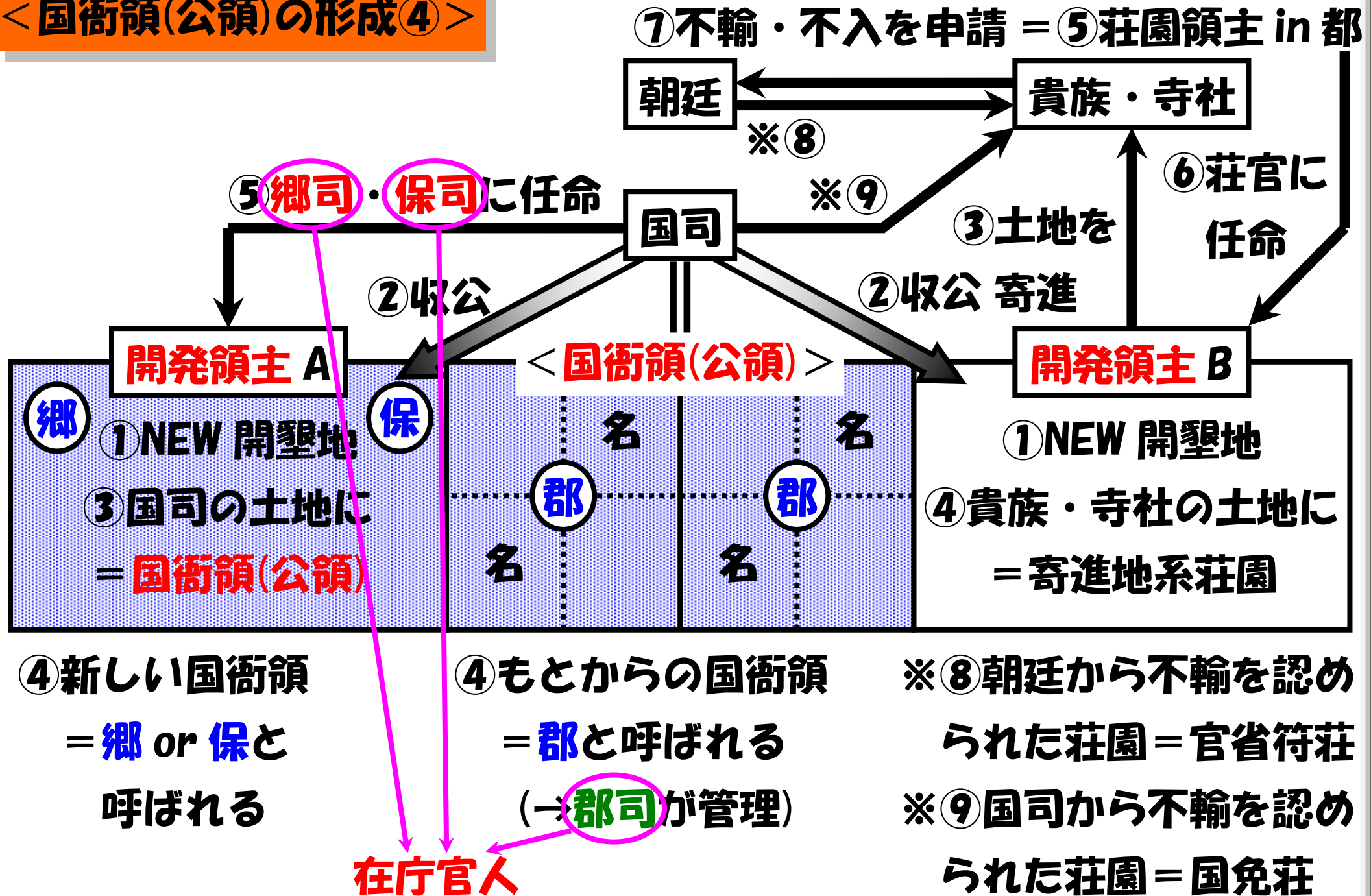


④新しい国衙領
= 郷 or 保と
呼ばれる

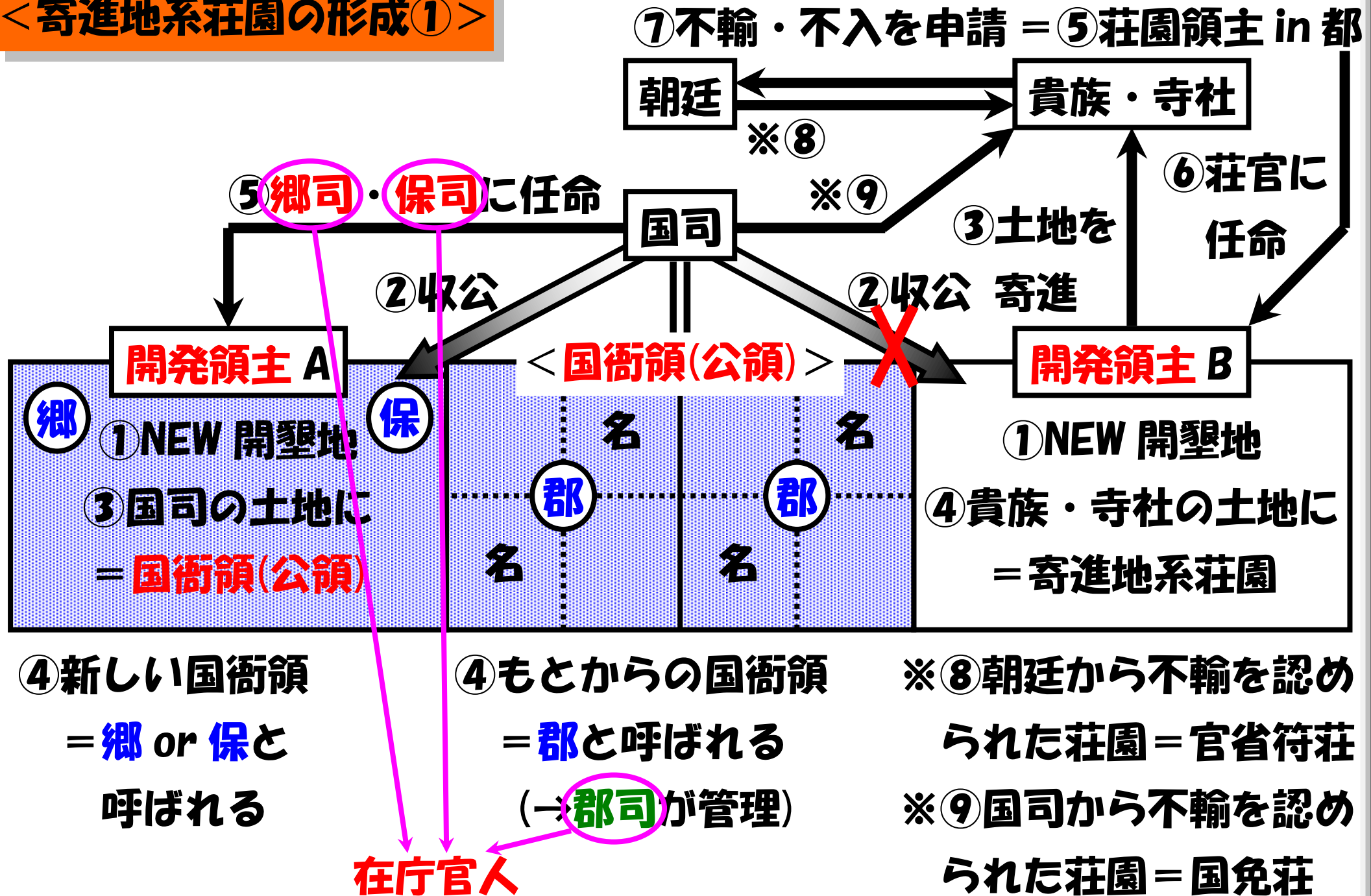
④もとのからの国衙領
= 郡と呼ばれる
(→郡司が管理)

※⑧朝廷から不輸を認め
られた荘園 = 官省符荘
※⑨国司から不輸を認め
られた荘園 = 国免荘

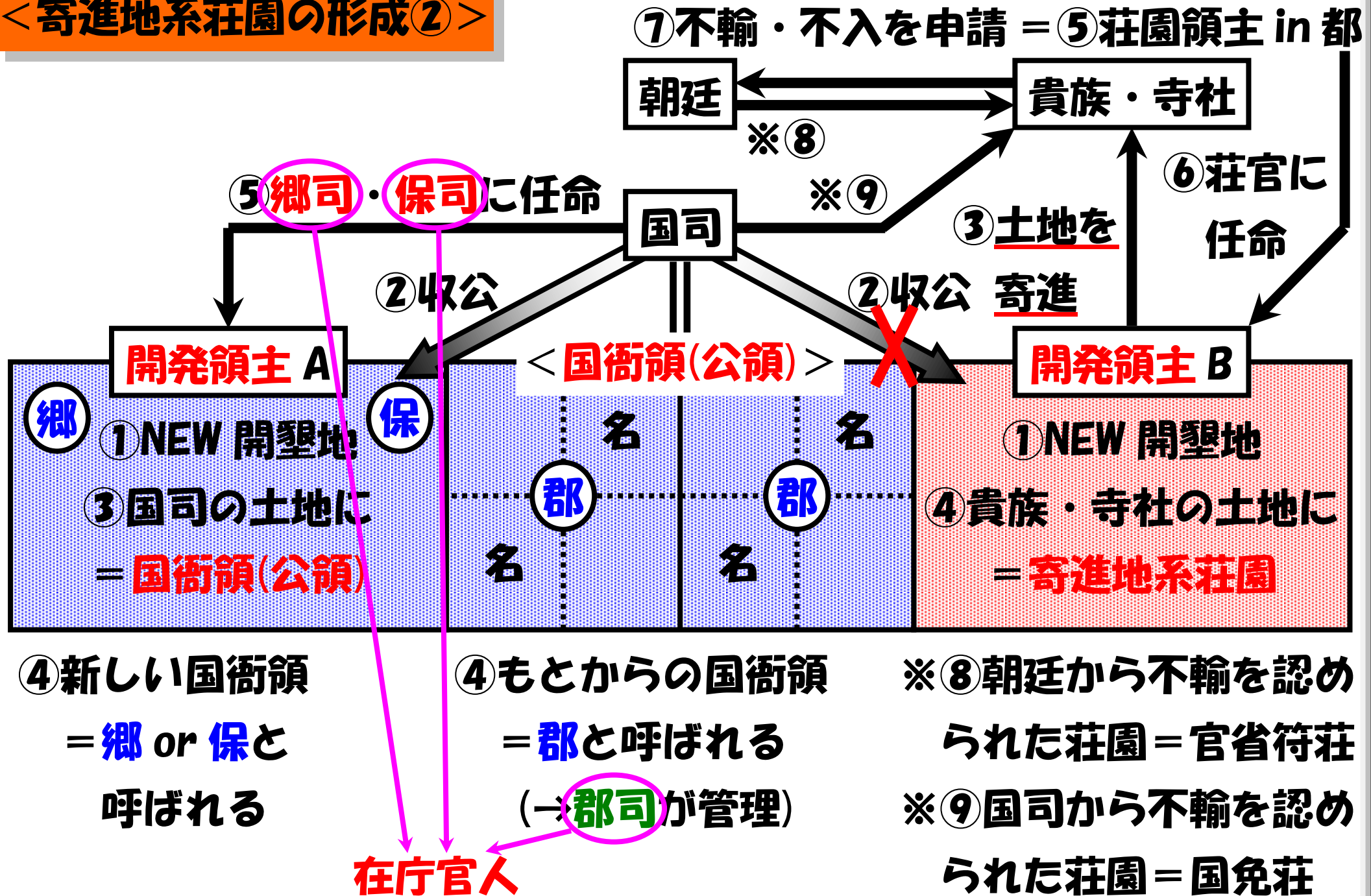
<国衙領(公領)の形成④>



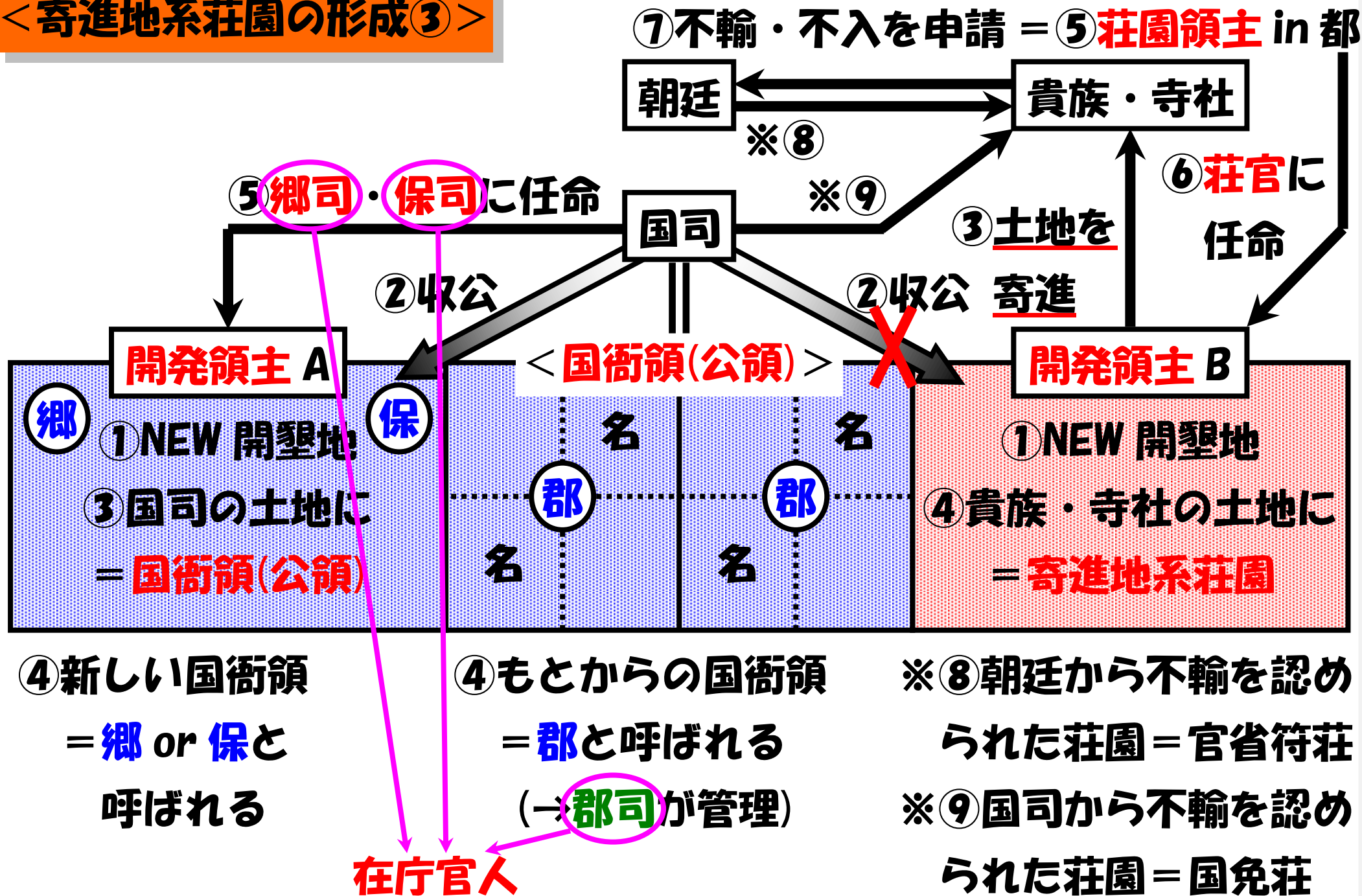
< 寄進地系荘園の形成① >



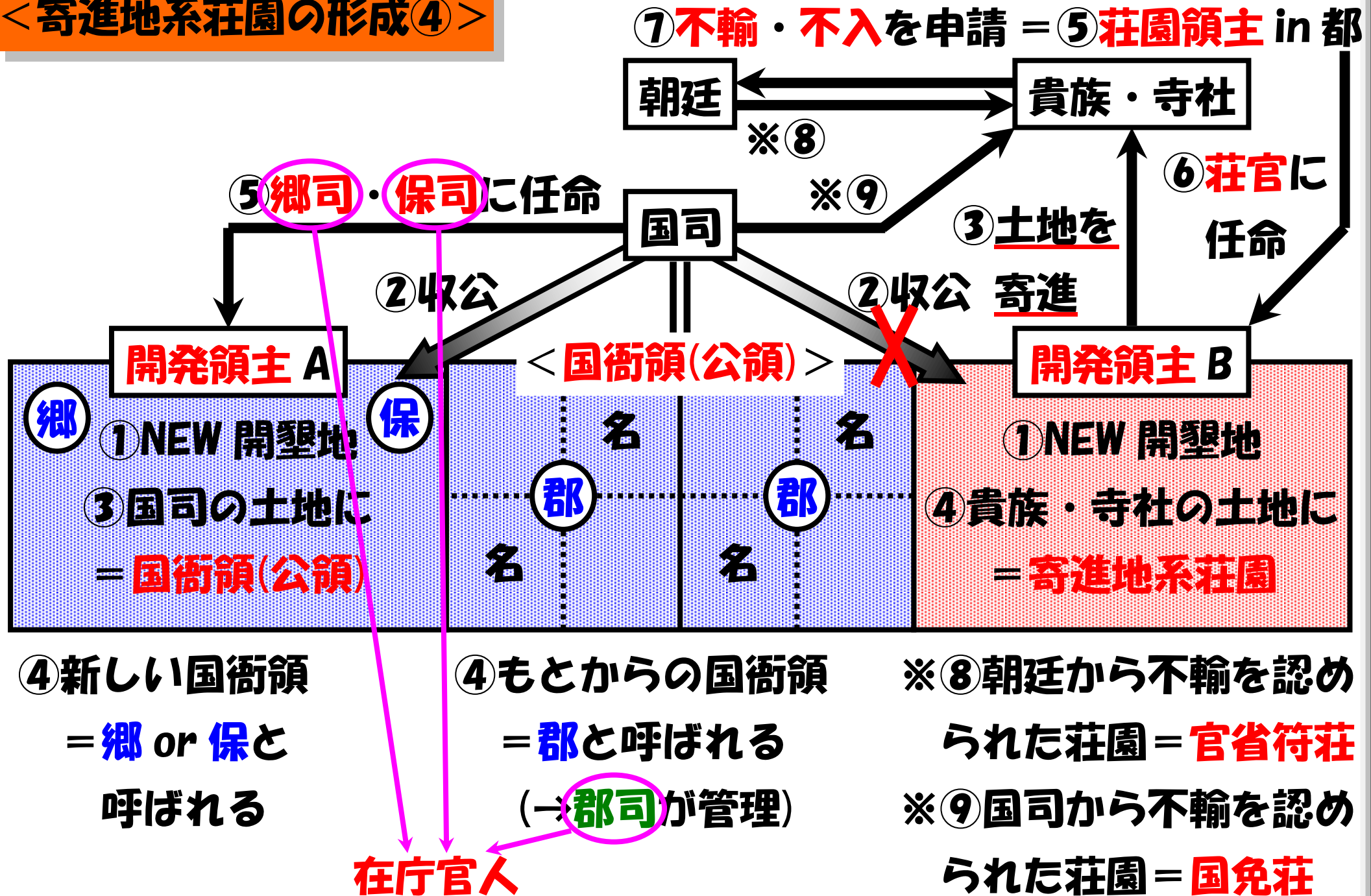
< 寄進地系荘園の形成② >



< 寄進地系荘園の形成③ >



<寄進地系荘園の形成④>



<莊園公領制>

朝廷

遙任(国司)

目代(国衙)

郡司・郷司・保司

田堵(負名)→名主

年貢・公事・夫役

下人・所従

〔国衙領(公領)〕

<莊園領主>

本家(皇族・大貴族)

領家(有力貴族)

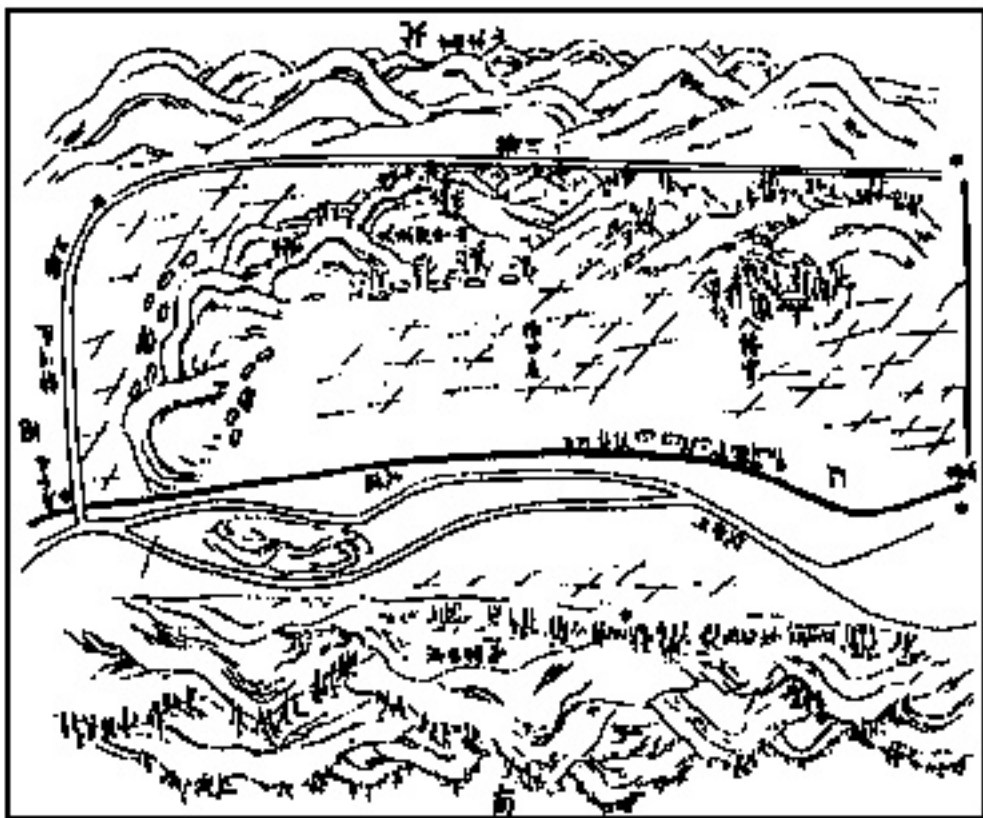
莊官(預所)

莊官(下司・公文)

田堵(負名)→名主

下人・所従

〔寄進地系莊園〕



< 寄進地系荘園の例 >

おむろ
御室

本家 = 高陽院内親王 ^{かやのいんないしんのう} 死後 ^{にんなじ} (仁和寺)

寄進 ↑ 米 200 石納入

領家 = 藤原実政 ^{ふじわらのさねまさ} 願西 ^{がんさい} < 国衙

寄進 ↑ 米 400 石納入

寿妙 ^{じゅみょう} 中原高方 ^{なかはらたかかた} = 荘官 (預所)

(開発領主)

^{かのこぎのしょう}
肥後国鹿子木荘

< 他氏排斥 → 藤原氏外戚 >

(伴氏) 他氏
(橘氏)
など

女

—

天皇

—

女

子

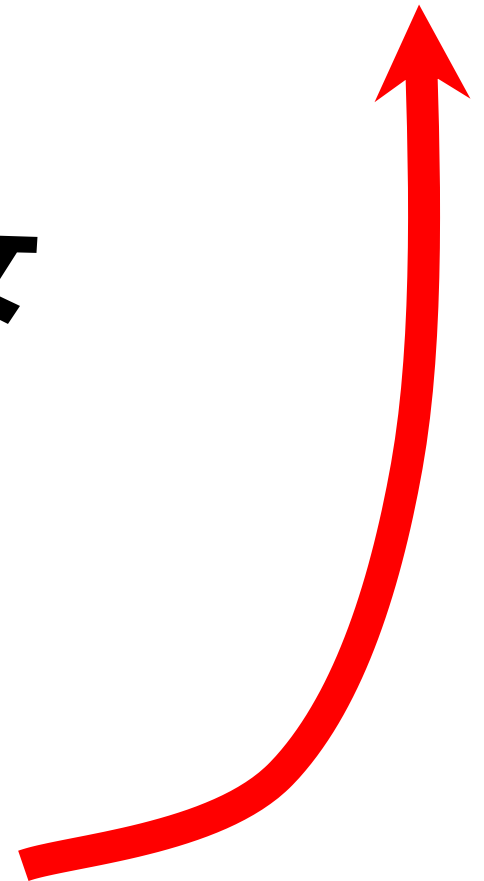
子

(皇太子)

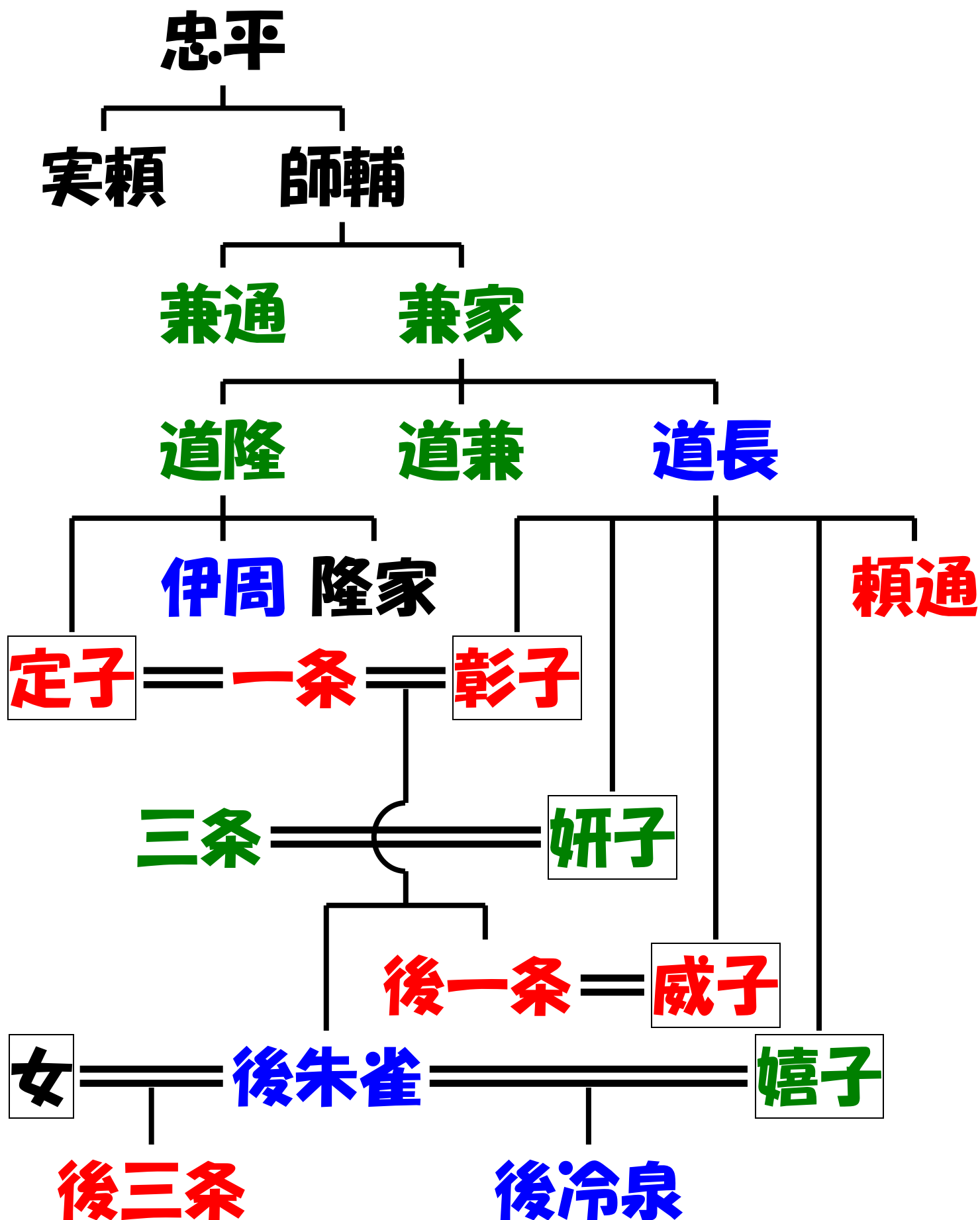
(→ 天皇)

藤原氏 = 外戚

他氏排斥



< 摂関家系図② >



<記録所>

不輸を申請

<都>

莊園領主(貴族)

<朝廷>

天皇 太政官

土地を 寄進

莊官

莊園
(開発領主層)

⋮

(以下略)

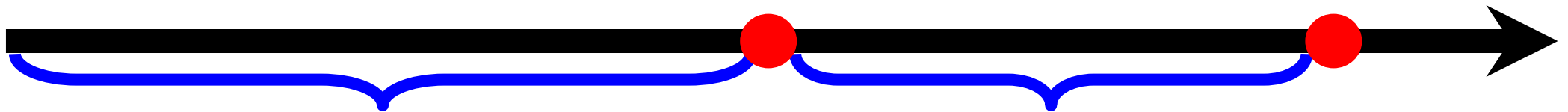
宣旨

太政官符(官符)

<延久の荘園整理令>

寛徳二年
(1045 年)

延久元年
(1069 年)



1045 年以前の荘園

→券契不明な荘園・

国衙の妨げになる

荘園は認めず

1045 年～

1069 年の荘園

→認めず



<天皇家系図>

後三条⁽⁷¹⁾

① | ⁽⁷²⁾

白河

=====

正盛

| ⁽⁷³⁾

堀河

② | ⁽⁷⁴⁾

鳥羽

=====

忠盛

|
├── ⁽⁷⁶⁾ ③ | ⁽⁷⁷⁾ ─── ⁽⁷⁵⁾
|
└──

近衛

後白河

崇徳

清盛

以仁王

高倉

===== 徳子

重盛

④ |

後鳥羽

安徳

維盛

<院政>

< 院(治天の君と呼ばれる上皇・法皇) >
(天皇を後見しながら人事権など国政の実権を掌握)

院近臣 (側近→受領層の中下級貴族が多い)

北面の武士 (強訴の防御にあたる武士)

院宣(上皇の命令文書)

< **院庁** >

(院政を行う行政機関)

院司(院庁の役人)

院庁下文(庁御下文)
(院庁から出される文書)

院領(荘園・院分国等)

< **朝廷** >

天皇 **太政官**

(在位の君)(上級貴族)

宣旨

(**太政**)
官符

諸国(**五畿七道**)

執柄(**摂政・関白**)・在位の君(**天皇**)も実権を伴わない
名ばかりの職・位となってしまった『**神皇正統記**』

<知行国制度>

朝廷

①本来は貴族へ給与を支給

→but 有名無実化…そこで

貴族

②貴族を知行国主に任命し

一国の知行権(支配権)を与える

→貴族は国司になれないので…

※上級貴族は太政官の官職

子弟

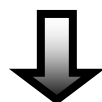
③貴族は子弟を国司に任命

→子弟は現地に赴かず(遙任)

家臣

④家臣を代わりの国司として派遣

→代官(目代)として現地で徴税



<歴史的意義>

知行国主(上級貴族・寺社)が

公領(国衙領)を私領化

< 末法思想 >

(good)

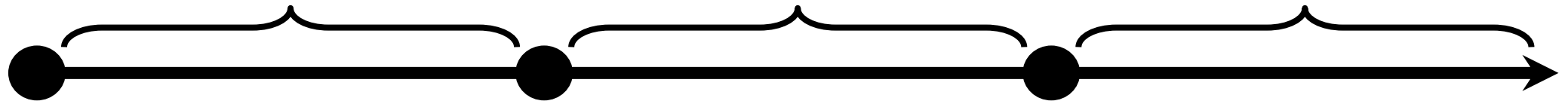
正法

(?)

像法

(bad)

末法



釈迦

1000

1000

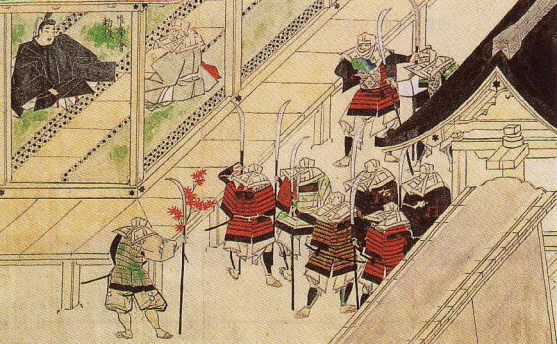
入滅

年後

年後

末法元年 = 1052 年







<天皇家系図>

後三条⁽⁷¹⁾

① | ⁽⁷²⁾

白河

=====

正盛

| ⁽⁷³⁾

堀河

② | ⁽⁷⁴⁾

鳥羽

=====

忠盛

|
├── ⁽⁷⁶⁾ ③ | ⁽⁷⁷⁾ ─── ⁽⁷⁵⁾
|
└──

近衛

後白河

崇徳

清盛

以仁王

高倉

===== 徳子

重盛

④ |

後鳥羽

安徳

維盛

< 保元の乱 >

< 天皇側 >

後白河天皇

藤原忠通

源義朝

平清盛

< 上皇側 >

崇徳上皇

藤原頼長

源為義 ・ 為朝

平忠正



<平治の乱>

後白河上皇

<院近臣>

藤原通憲

(信西)

平清盛

藤原信賴

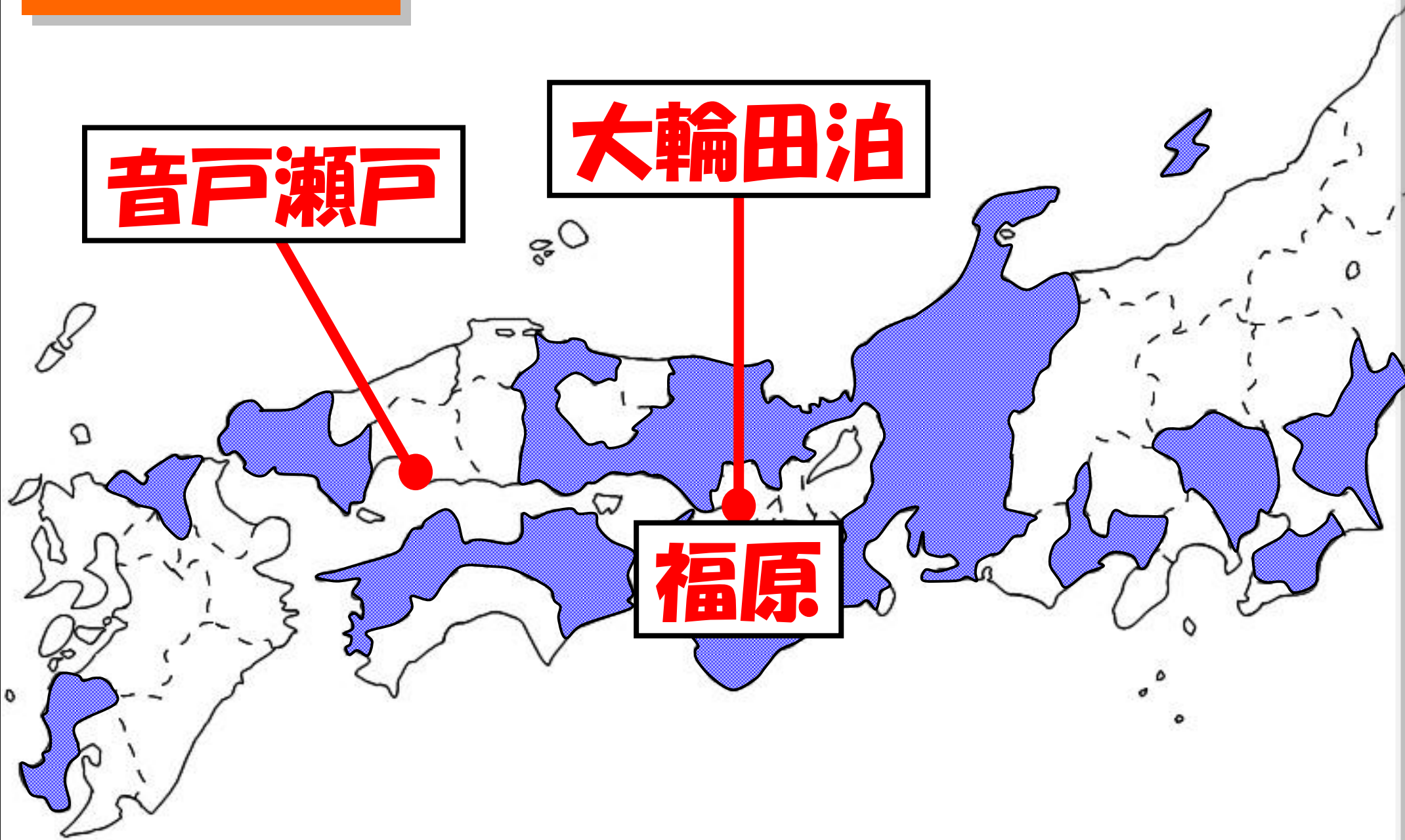
源義朝

<平氏政権>

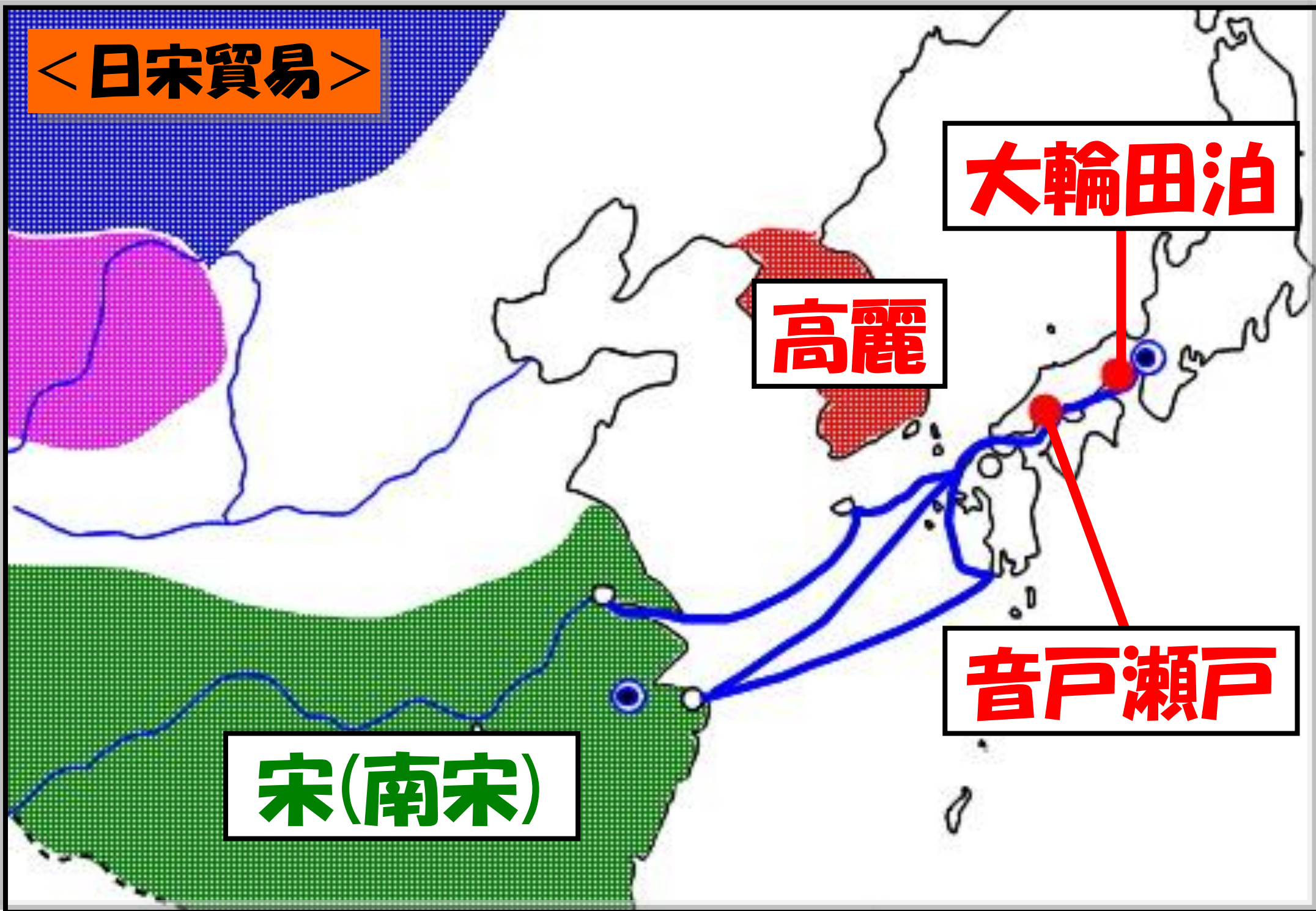
音戸瀬戸

大輪田泊

福原



<日宋貿易>



<西国武士の家人化>

平氏

納税



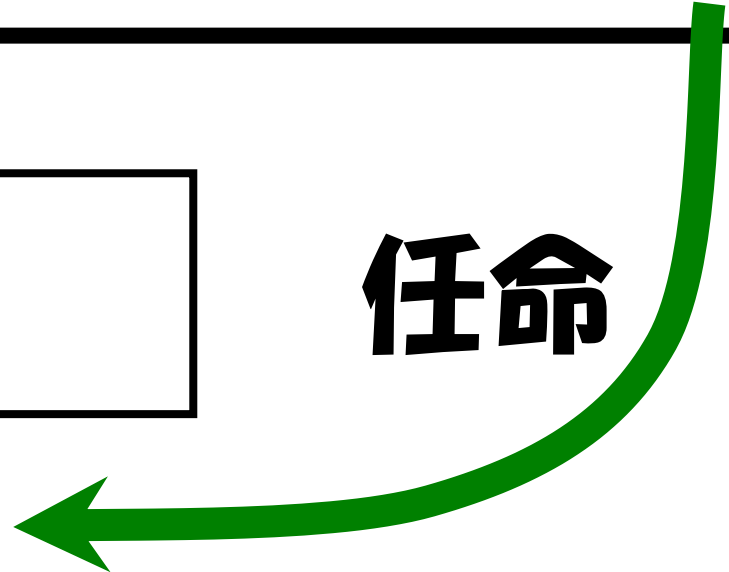
主従関係 = 家人化

莊園

莊官

任命

(地頭)



<東国武士の御家人>

鎌倉幕府

(主従関係)

奉公

御恩

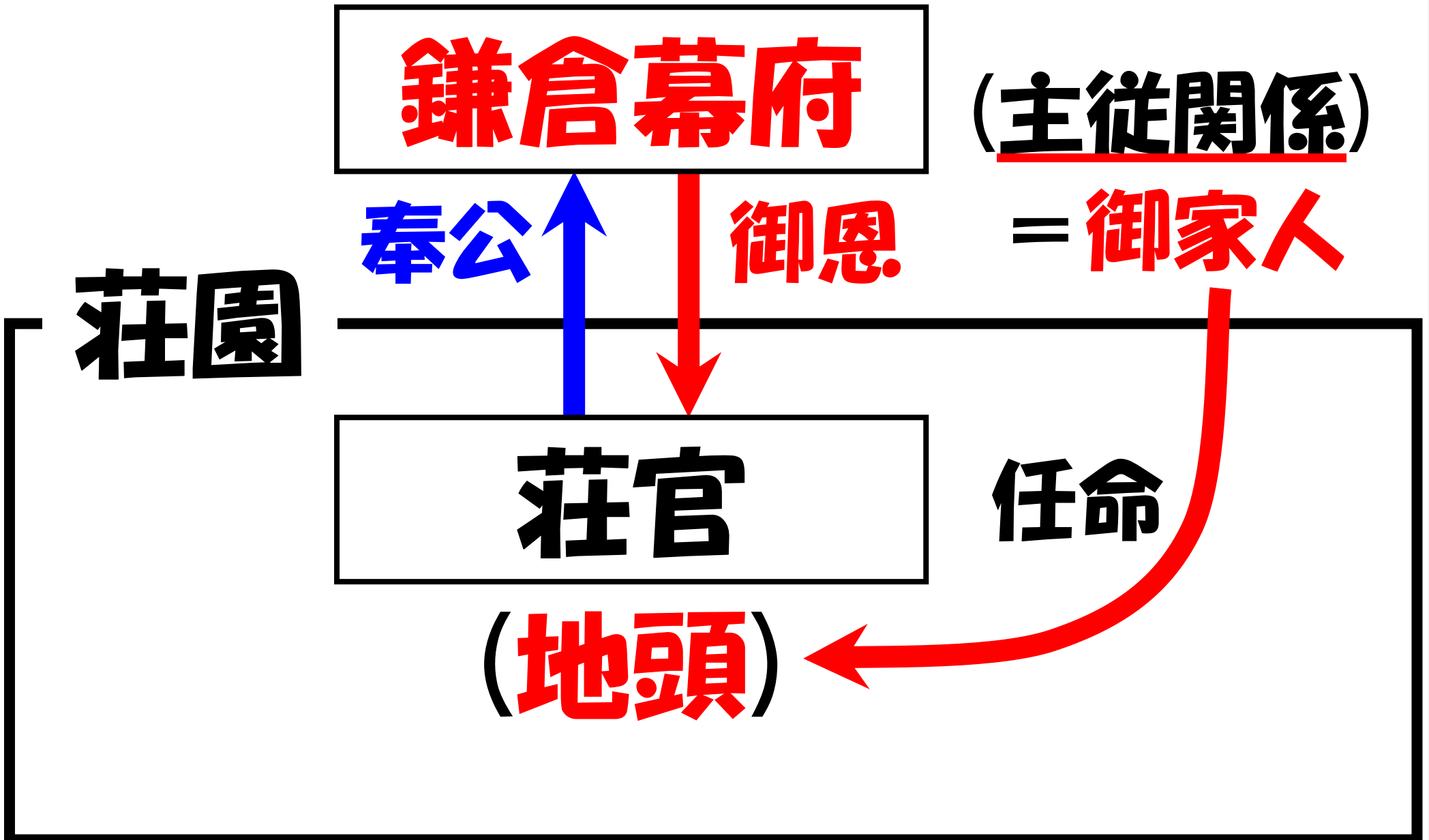
= 御家人

莊園

莊官

任命

(地頭)



妙法蓮華經妙莊嚴王本事品第七
今時佛告諸大眾子往昔世過無量阿僧祇劫
不可思議阿僧祇劫有佛名寶雲音宿王華智
多陀阿伽度阿羅訶三藏三佛號名光明
莊嚴如名喜見彼佛法中有王名妙莊嚴其
王夫人名曰華德育二子一名華嚴二名淨
眼是二子有大神力而意常憐念人謂其行



<天皇家系図>

後三条⁽⁷¹⁾

① | ⁽⁷²⁾

白河

=====

正盛

| ⁽⁷³⁾

堀河

② | ⁽⁷⁴⁾

鳥羽

=====

忠盛

|
├── ⁽⁷⁶⁾ ③ | ⁽⁷⁷⁾ ─── ⁽⁷⁵⁾
|
└──

近衛

後白河

崇徳

清盛

以仁王

高倉

===== 徳子

重盛

④ |

後鳥羽

安徳

維盛



<源平合戦>

